

令和4年度 病虫害発生予察情報(美濃地域) 7月予報

【 水稲 】

斑点米カメムシ類

岐阜・西濃地域及び東濃地域に設置した予察灯では、カスミカメムシ類の誘殺が6月以降増加しています。水稲の出穂直前および出穂後の畦畔除草は、本虫を水田内に追い込む恐れがあるため出穂10日前までに実施し、出穂期～穂揃期の間使用する薬剤に合わせた適期防除を徹底してください。また粒剤はイネカメムシに対して出穂5～10日前の散布が、効果が高いです。

【 果樹 】

果樹カメムシ類

予察灯への誘殺数は、中濃地域では5月第4半旬より、岐阜・西濃地域では6月第4半旬より急激に増加しています。夜間の温度及び湿度が高く、風の弱い日は、活発に活動する傾向がありますので、飛来が認められる場合は直ちに防除を実施してください。

○主な病虫害の発生時期及び防除時期（7月）

	病虫害名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1旬	2旬	3旬	4旬	5旬	6旬	
水稲	生育(コシヒカリ)	並	<幼穂形成期>						・6/15 調査 (5/9 田植：農業技術センター)
	葉いもち	並				<発生最盛期>		・ 葉いもち ;箱施薬を実施していないほ場では発生初期に本田防除を実施する。	
	紋枯病	並		<初発生>				・ 紋枯病 :前年度に多発したほ場では、初発生を確認したら薬剤防除を実施する。	
	縞葉枯病	少				<発生最盛期>		・ 縞葉枯病 :感受性品種では特に注意する。	
	ヒメトビウンカ	並	<第2世代幼虫>		<第2世代成虫>			R4 保毒虫率 0.1% (平年 1.5%)	
	セジロウンカ	並				<第1世代成虫>		・ 斑点米カメムシ類 カスミカメムシ類が優占する地域では出穂～穂揃期に防除を実施する。また、粒剤は商品により散布時期が異なるため注意する。	
	斑点米カメムシ類	やや多					<本田侵入時>		
	防除適期		斑点米カメムシ類：穂揃期およびその7～10日後に防除を実施する。						
生育(ハツシモ)	並						・田植 6/10 (農業技術センター)		
かき	ハマキムシ類	やや多		<第2世代幼虫>				・幼虫発生初期の防除を徹底する。	
	防除適期		▲ハマキムシ類(岐阜西濃・中濃)						
なし	黒星病	やや少						・幸水では、果実肥大期の7月上中旬頃に最も感受性が高まるため注意する。	
	防除適期		～ ▲黒星病						
果樹	カメムシ類	やや多	<越冬世代・新世代成虫>						・夜間の温度や湿度が高い場合は、突発的にほ場へ飛来するため注意する。
	防除適期								
茶	生育(やぶきた：池田)	並							
	岐阜 西濃	ハマキムシ類	多	<第2世代幼虫>				・ ハマキムシ類 :発蛾最盛期から7～10日後の防除を徹底する。	
		チャノホソガ	多	<第2世代成虫>				・ チャノホソガ :発蛾最盛期と萌芽～展葉期が合致すると被害が発生するため、発蛾最盛期から10日後に防除を実施する。	
	防除適期		▲ハマキムシ類 チャノホソガ ▲						
	生育(やぶきた：白川)	やや早	<二番茶>						
	中濃	ハマキムシ類	やや多		<第2世代幼虫>				
	チャノホソガ	やや多		<第2世代成虫>					
防除適期		▲ハマキムシ類							

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬	
野菜・花き	灰色かび病	並				<発生最盛期>			・同一系統薬剤の連用は避ける（薬剤耐性および抵抗性の発達を避けるため）。 ・ <u>灰色かび病</u> ：葉先枯れ、花ガラ、ガク枯れ等の枯死部位は発生源となるため取り除く。 ・ <u>ハスモンヨトウ</u> ：発生初期の防除に努める。 ・ <u>ハコガ</u> 類：若齢幼虫の防除を徹底する。
	アザミウマ類	並							
	ハスモンヨトウ	並							
	タバコガ類	並							
	ハダニ類	並							
防除適期			～ ▲灰色かび病						

注1) ▲、▲～▲：防除適期

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

いもち病（葉いもち）

BLASTAM（アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件の判定システム）によると、6月中旬以降、感染好適日が確認されています（表1参照）。感染好適日が連続すると、おおよそ5～10日後に病徴が確認され始めますので、ほ場での発生状況に十分注意して、適期防除を実施してください。

表1 2022年6月BLASTAMによるいもち病の発病条件 病害虫防除所

日付	岐阜	大垣	愛西 海津	関ヶ原	揖斐川	樽見 根尾	美濃	八幡	長滝 白鳥	美濃 加茂	黒川 白川	多治見	中津川	恵那
6/7	●	—	—	—	—	◎	●	◎	—	—	—	◎	—	—
6/8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/9	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—
6/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	—	—	—
6/11	—	—	—	—	—	—	—	△	—	—	—	—	◎	—
6/12	—	●	●	—	●	◎	●	△	◎	—	◎	—	△	△
6/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/14	●	●	●	—	●	△	—	—	—	◎	—	—	—	—
6/15	●	●	●	●	●	△	●	△	△	●	△	●	△	△
6/16	—	◎	—	◎	●	◎	—	◎	◎	—	◎	—	—	—
6/17	—	—	—	—	—	△	—	△	—	—	—	—	—	—
6/18	—	—	—	—	—	—	—	△	—	—	—	—	—	—
6/19	—	—	—	—	—	△	—	—	—	—	—	—	—	—
6/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/22	—	—	—	●	—	●	—	●	—	●	●	—	—	—
6/23	●	—	—	—	●	—	●	●	—	—	—	—	—	—
6/24	—	○	—	—	●	—	●	●	—	▲	—	●	—	—
6/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/26	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—	—	▲	—	—
6/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



いもち病（葉いもち）

凡例

- △：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は20℃未満）
- ▲：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は25℃以上）
- ：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、湿潤時間の平均気温は15～25℃の範囲外）
- ◎：準好適条件（湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとの必要な時間より短い）
- ：好適条件（湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲にある）
- ：好適条件、準好適条件は満たされなかった。
- 空欄：欠測値があるため判定不可能

6月～8月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散が無いよう、十分に配慮してください。

東海地方1か月予報(名古屋地方気象台 6月23日発表)

向こう1か月の気温は高く、特に期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。降水量は平年並か少なく、日照時間は多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767



岐阜県病害虫防除所
トップページ
QRコード